

研究タイトル：対照言語学的な英文法・日本語文法の説明、記号づけを用いた英語教育実践



氏名：	熊谷 健 / KUMAGAI Takeshi	E-mail：	kumagai@tokyo-ct.ac.jp (%を@に置換して下さい)
職名：	准教授	学位：	修士(文学)
所属学会・協会：	日本英語学会、日本言語学会、日本英文学会、全国高等専門学校英語教育学会		
キーワード：	記号づけ、文法教育、言語理論、生成文法		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な英文を基本的な法則を下に理解できるような手段を提供する。 ・英語と日本語の文法を対照言語学的見地から説明し、文法教育に応用する。 		

研究内容：効果的な文法教育の追求

1. 研究概要

1) 英語学習初期における効果的な文法教育

英語の文法法則をできるだけ少ない数の記号で、より効果的な構造把握を目指すために、どのようなアプローチが望ましいかということを実践を通して追求する。生成文法理論などから得られた言語学的見地を下に、「記号づけ」を利用し、実践的に効果的な手法を提示する。

2) 日英語の対照研究による効果的な言語教育

英文法理解の助けとするため、日本語文法も研究し、対照言語学的立場からのアプローチを模索し、日本語文法から英語文法への橋渡しの学習方法も明確化する。

2. 従来の手法に対する優位性

1) 英文法教育を感覚的なものにゆだねず、言語学的文法理論を背景に、文法の基本法則から、学習者が段階的に英文を理解する手法を採用することができる。

2) 英語学習者が無意識のうちに日本語の母語の干渉を受け、英文法理解がうまく進まない状況を、日本語の文法を意識させることで、より効果的に英文法を学ぶ手法を提示できる。

3. 予想される応用分野

1) 高校レベル初期の英文法教育

2) 英語教育を専門とする学生・教授者に対する、英文法を言語学的に捉える基礎トレーニング。

4. 関連する論文等

- ・「『文もどき』－用語の導入とその意義－」, 『言語研究の現在』(開拓社) : pp. 291-301. 2008.
- ・「効果的な英文法指導の実践記録－『記号づけ』から基本文型へ－」, 『群馬高専レビュー』, 第24号 : pp. 11-19. 2006.
- ・「語学教育としての文法教育－『可能表現』の観点から－」(共著東城敏毅), 『高専教育』, 第24号 : pp. 49-54. 2001.

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	